

予算常任委員会

平成27年度当初予算の主な内容をご紹介します

ふるさと納税ふるさと便事業費

6,871千円

ふるさと納税を推進するため、納税者に対し地元特産品などを送る。

福祉医療費

217,290千円

乳幼児、小学生、ひとり親家庭の児童、高齢身体障がい者及び重度心身障がい者(児)の医療費助成。

農業経営発展加速化支援事業費

59,155千円

地域の意欲のある経営体が取り組む農業の規模拡大や複合化、6次産業化等を行う際の機械導入や施設整備等に対する助成。

公共施設等総合管理計画策定費

28,440千円

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画を策定する。

あきた未来づくり協働プログラム事業費

17,341千円

「田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクト」として、クニマス未来館実施設計及び田沢湖湖底調査事業を実施。

岩瀬北野線整備事業費

364,686千円

都市計画道路岩瀬北野線の小館(内川橋)～大風呂(横町橋)区間の整備事業費。

議論のポイント ～予算委員会質疑から～

クニマス未来館建設を問う

質問 クニマス未来館建設の総事業費が、3.1億円から4.1億円へと大幅に増額される見込みだが、理由は？

答弁 集客力確保のためクニマスの水槽を当初より大きなものへ変更した。また、魚の伝染病予防のための水槽ろ過システムや停電対策の設備などを追加する。さらに、現在郷土資料館にあるクニマス関連の展示品を移設するためのスペースを増やしたことなどが、予算増額の理由として挙げられる。

質問 以前から指摘している収益

の充当も視野に入れている。

公共事業等総合管理計画策定市独自の計画を!!

質問 計画策定に2,800万円もかかるのはなぜか？業者委託ではなくゼロ予算の事業として市職員が計画を策定している自治体もあるが、そのようにするべきではないのか？

答弁 27年度予算に計上している

のは計画策定の基となる公有財産の固定資産管理台帳の策定費である。現在の市有財産の評価額を算出する作業に専門的知識が必要なことから委託する。今後出来るだけ精度の高い計画を策定するためにも委託についてはお願いしたい。

「プレミアム付き商品券発行」など

国の緊急支援交付金を含む平成26年度補正予算を可決

主な補正予算の内容

- プレミアム付商品券発行事業 76,280万円(額面千円の商品券12枚綴り1セットを1万円で販売)
- ころもあつたか温泉入浴促進事業 560万円(1世帯につき2枚の温泉券を配布 市内の温泉で利用可)
- 定住対策新婚世帯家賃助成事業 240万円(新婚世帯が転入した場合家賃を補助)
- 中小企業活性化支援事業 2,000万円(市内中小企業の新規開業、事業拡張への補助)
- ときめき恋・来い交流事業 620万円(出会いの機会創出のためのイベント開催への補助など)